

◆ 今週のコメント

- 新型コロナウイルス感染症の報告が267例(男性139例(10歳代19例, 20歳代35例, 30歳代27例, 40歳代21例, 50歳代13例, 60歳代5例, 70歳代6例, 80歳代2例, 90歳代1例, 年齢非公開10例), 女性116例(10歳代11例, 20歳代25例, 30歳代18例, 40歳代16例, 50歳代17例, 60歳代7例, 70歳代7例, 80歳代2例, 90歳代2例, 年齢非公開11例), 性別及び年齢非公開12例)あり, 本年の累積報告数は20,684例になりました。
本感染症の最新の動向及び詳細については下記URLをご参照ください。
○新型コロナウイルス感染症 最新の動向
<https://www.city.kyoto.lg.jp/hokenfukushi/page/0000268303.html>
- レジオネラ症(肺炎型)の報告が1例(80歳代女性)ありました。症状は発熱, 肺炎, 嘔吐で, 感染地域は国内, 感染経路は不明です。本年の累積報告数は17例となりました。
- カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症の報告が1例(60歳代男性)ありました。本年の累積報告数は32例となりました。
- ヘルパンギーナの定点当たり報告数は京都市が0.51(前週0.63), 全国が0.42(前週0.53)となり, 34週から増加傾向にありましたが, 今週に入り減少しました。ヘルパンギーナと共に夏風邪の一つでもある手足口病の定点当たり報告数は本市0.56(前週0.33), 全国0.98(前週0.81)と増加しました。両疾患とも例年とは異なった推移を示しており, 今後の動向に注意が必要です。

◆ 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第38週, 京都市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者が267例報告され, 本年の累計陽性者数は20,684例になりました。詳細をトピックスに掲載しています。

◆ 発生状況

全数把握の感染症

- 二類:結核 3例(肺結核 1例, その他結核 1例, 潜在性結核感染者 1例)うち喀痰塗抹陽性 1例)
【1月以降の累積報告数 178例(肺結核 61例, その他結核 53例, 潜在性結核感染者 64例)うち喀痰塗抹陽性 28例】
- 新型コロナウイルス感染症267例【1月以降の累積報告数20,684例】
- 四類:レジオネラ症 1例【1月以降の累積報告数 17例】
- 五類:カルバペネム耐性腸内細菌科細菌感染症1例【1月以降の累積報告数 32例】

定点把握の主な感染症

(市内定点数 インフルエンザ定点69, 小児科定点43, 眼科定点10, 基幹定点1)

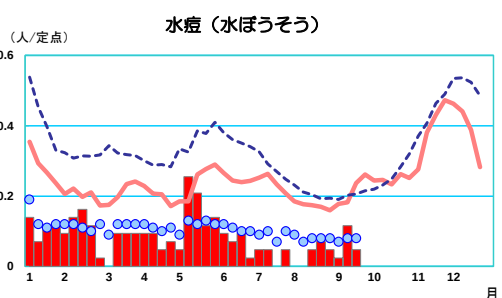
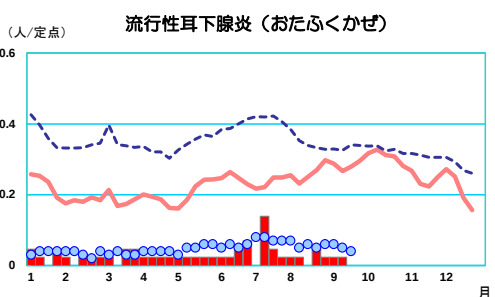
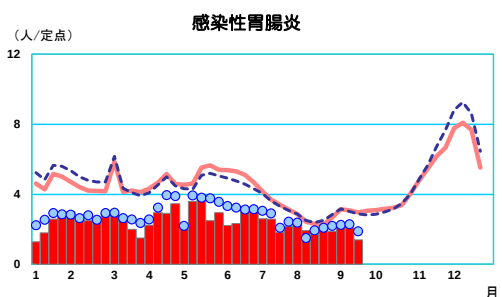
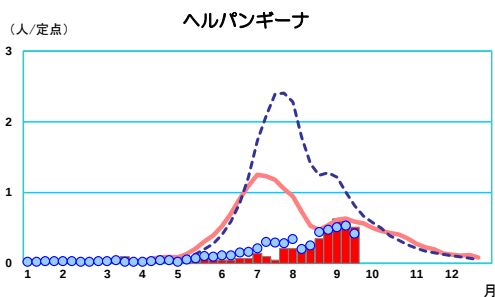
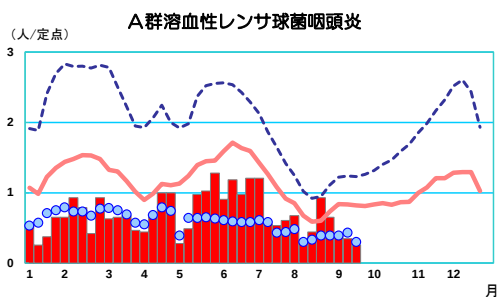
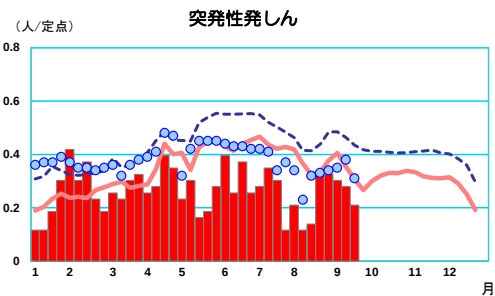
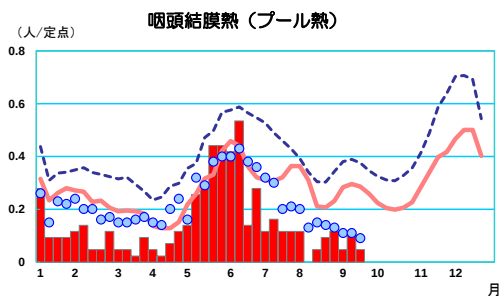
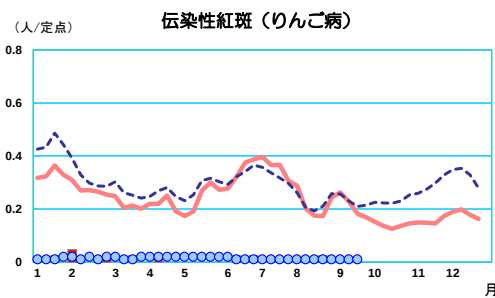
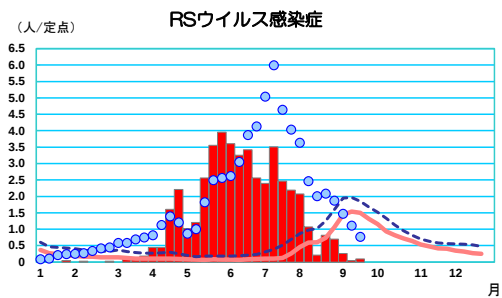
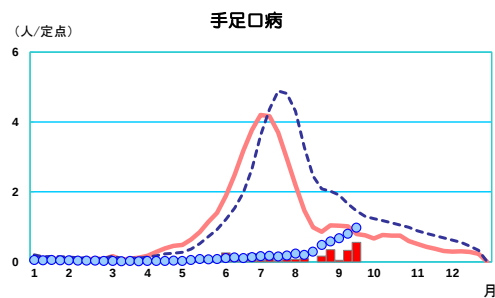
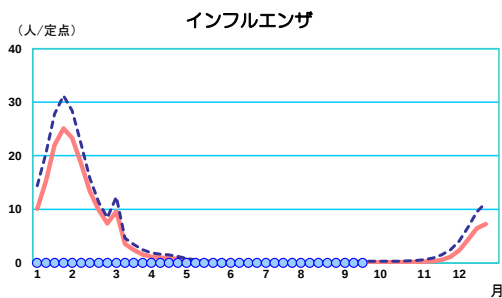
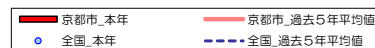
定点	感染症名	定点当たり報告数	報告数
インフルエンザ*	インフルエンザ	0.00	0
小児科 (降順5位まで)	① 感染性胃腸炎	1.40	60
	② 手足口病	0.56	24
	③ ヘルパンギーナ	0.51	22
	④ A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	0.26	11
	⑤ 突発性発しん	0.21	9
眼科	流行性角結膜炎	0.00	0

【次ページ以降の主な内容】

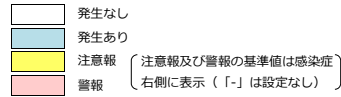
発生状況の概況グラフ / 発生状況地図 / 今週のトピックス: <新型コロナウイルス感染症>
付表(疾病, 行政区別報告数 / 年齢階級, 疾病別報告数 / 週, 疾病別報告数)

(注) 京都市のデータは, 2021年9月30日現在の報告数で, 全国の還元データと若干異なる場合があります。
また, 本情報での患者数は, 届出医療機関所在地での集計で, 患者の住所を示すものではありません。
※ 感染地域及び感染経路については推定を含みます。

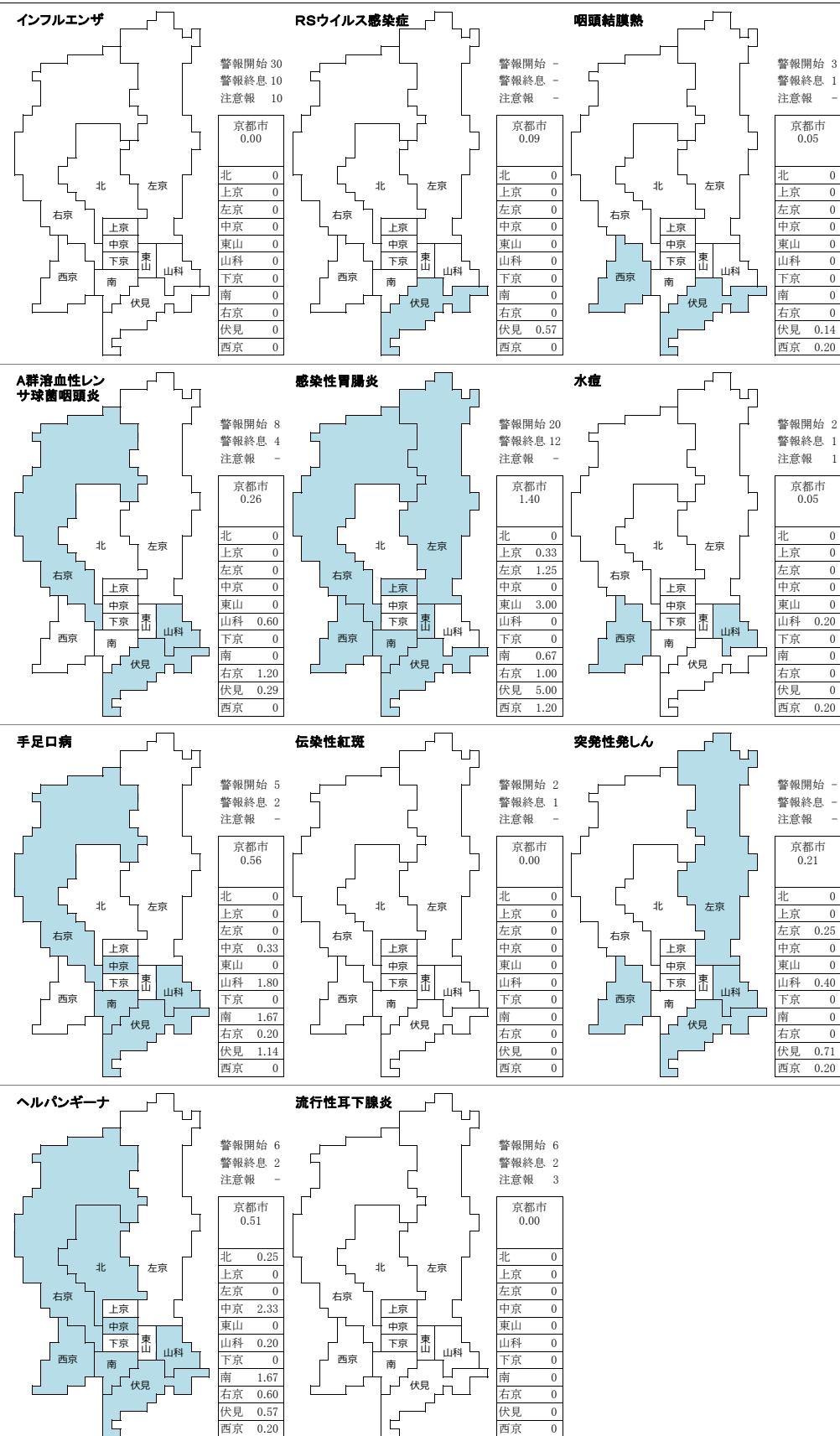
インフルエンザ及び小児感染症の疾病別推移グラフ（2021年）



インフルエンザ及び小児感染症の発生状況地図【2021年 第38週】



※定点医療機関の所在地に基づいた集計結果となっています。
したがって、定点当たり報告数は医療機関の「立地条件」や
「規模の大小の影響を受ける場合がありますので、ご注意ください。



第38週(9月20日～9月26日)トピックス: <新型コロナウイルス感染症>

2021年第38週, 京都市では新型コロナウイルス感染症(COVID-19)の検査陽性者(以下, 陽性者)が267例報告され, 本年の累計陽性者数は20,684例になりました。

COVID-19の検査陽性者の人口10万当たりの週移動平均を見ると, 全国及び京都市共に同様の推移を示し, 第34週(8月23日～29日)あたりにピークを迎え, その後急激に低下しました(図1)。

新型コロナウイルス感染症に関する緊急事態が発生した旨の宣言は, 新型インフルエンザ等対策特別措置法第32条第1項の規定に基づくもので, 昨年4月7日に初めて発出されました。以降, 流行状況に伴い発出と解除を繰り返され, 今回, 本年8月2日に発出された4回目の緊急事態宣言が9月30日に解除されました。京都府に係るこれまでの緊急事態宣言およびまん延防止等重点措置の発出状況とその対応を表1にまとめました。

国立感染症研究所がとりまとめた新型コロナウイルスゲノムサーベイランスによる系統別検出状況によると, 前回の緊急事態宣言の期間はアルファ株が優勢でしたが, 今回の期間はデルタ株が優勢でした(図2)。デルタ株は, アルファ株より感染性・伝播性が数段高く, ワクチン接種を終えたにもかかわらず感染するいわゆるブレイクスルー感染も報告されています。一方, ブレイクスルー感染者のウイルス排出期間は, 未接種者より短縮されるという報告もあり, ワクチンは感染リスクを低下させているのは明らかようです。しかし, ワクチン接種者も基本的な感染防止対策の継続は必要と考えられます。また, 今のところその他の懸念される変異株が国内で拡大する兆候はみられていませんが, 今後も監視を継続する必要があります。

図1 新規陽性者数(人口10万人当たり・週移動平均)

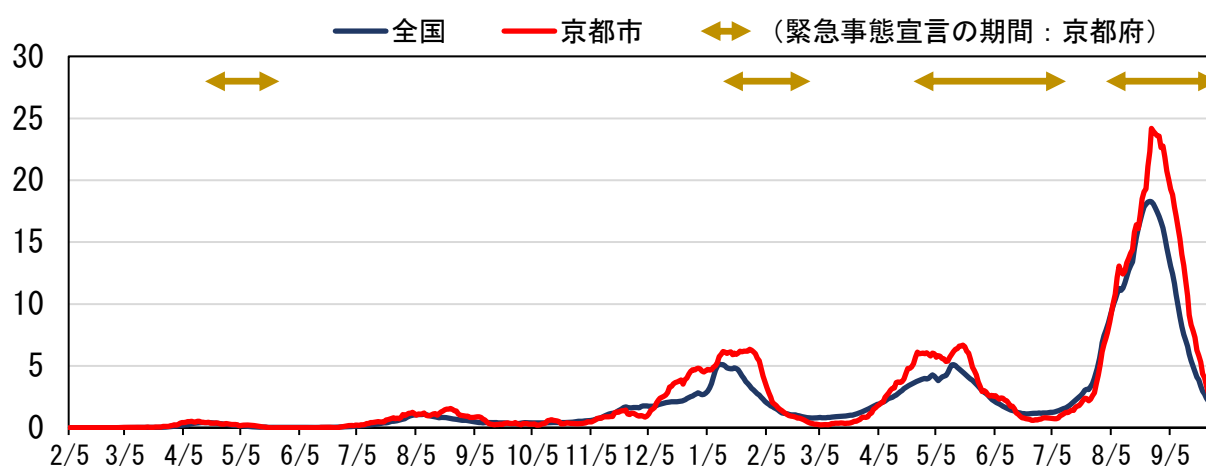
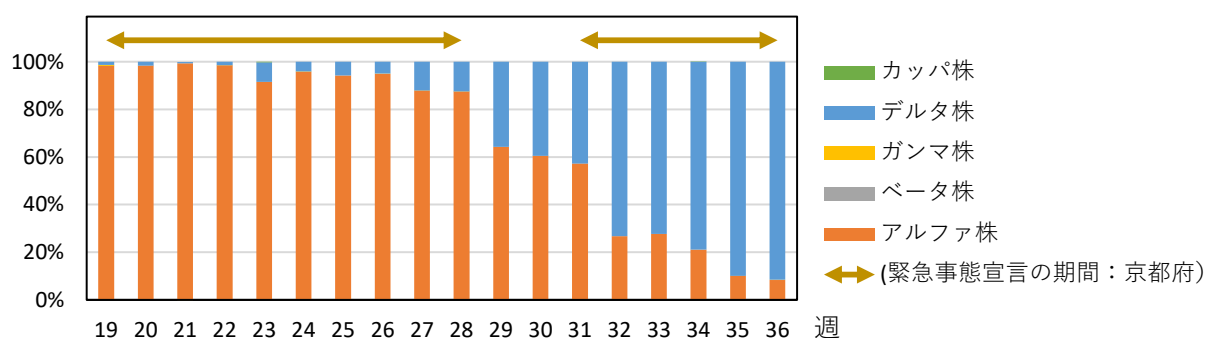


表1 新型コロナ感染症緊急事態宣言等の発出について

発出日	開始	終了予定	内容	京都府
2020/4/16	2020/4/16	2020/5/6	全国に拡大	緊急事態措置発出
2020/5/25		2020/5/25	解除	感染再拡大の抑制対策
2021/1/13	2021/1/14	2021/2/7	地域拡大	緊急事態措置発出
2021/2/26		2021/2/28	解除	感染再拡大の抑制対策
2021/4/9	2021/4/12	2021/4/24	発出	まん延防止等重点措置
2021/4/23	2021/4/25	2021/5/11	移行	緊急事態措置に移行
2021/5/7	2021/5/12	2021/5/31	延長	緊急事態措置の延長
2021/5/28	2021/6/1	2021/6/20	延長	緊急事態措置の延長
2021/6/17	2021/6/21	2021/7/11	移行	まん延防止等重点措置
2021/7/12		2021/7/12	解除	感染再拡大の抑制対策
2021/7/30	2021/8/2	2021/8/31	発出	まん延防止等重点措置
2021/8/17	2021/8/20	2021/9/12	移行	緊急事態措置に移行
2021/9/28		2021/9/30	解除	基本的な感染防止対策の要請

図2 ゲノムサーベイランスによる系統別検出状況



T3201

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第38週

疾病,行政区別報告数

2021年9月20日～2021年9月26日

データ入手日:2021年9月30日

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1	-	-	-					
上京	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	5	-	-	-	1	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	-	-	1	-	-	7	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	6	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	3	-	1	9	-	2	1	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	2	-	5	-	-	5	-							
右京	-	-	-	6	5	-	1	-	-	3	-	-	-					
伏見	-	4	1	2	35	-	8	-	5	4	-	-	-					
西京	-	-	1	-	6	1	-	-	1	1	-	-	-					
京都市計	-	4	2	11	60	2	24	-	9	22	-	-	-	-	-	-	-	-

疾病,行政区別定点当たり報告数

	インフル エンザ（※1）	R Sウイルス感染症	咽頭結膜熱	頭炎 A群溶血性レンサ球菌咽	感染性胃腸炎	水痘	手足口病	伝染性紅斑	突発性発しん	ヘルパンギーナ	流行性耳下腺炎	急性出血性結膜炎	流行性角結膜炎	細菌性髄膜炎（※2）	無菌性髄膜炎	マイコプラズマ肺炎	クラミジア肺炎（※3）	感染性胃腸炎（※4）
男女合計																		
北	-	-	-	-	-	-	-	-	-	0.25	-	-	-					
上京	-	-	-	-	0.33	-	-	-	-	-	-	-	-					
左京	-	-	-	-	1.25	-	-	-	0.25	-	-	-	-					
中京	-	-	-	-	-	-	0.33	-	-	2.33	-	-	-	-	-	-	-	-
東山	-	-	-	-	3.00	-	-	-	-	-	-							
山科	-	-	-	0.60	-	0.20	1.80	-	0.40	0.20	-	-	-					
下京	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-							
南	-	-	-	-	0.67	-	1.67	-	-	1.67	-							
右京	-	-	-	1.20	1.00	-	0.20	-	-	0.60	-	-	-					
伏見	-	0.57	0.14	0.29	5.00	-	1.14	-	0.71	0.57	-	-	-					
西京	-	-	0.20	-	1.20	0.20	-	-	0.20	0.20	-	-	-					
京都市計	-	0.09	0.05	0.26	1.40	0.05	0.56	-	0.21	0.51	-	-	-	-	-	-	-	-

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。
※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。
※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。
※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3202

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第38週

年齢階級, 疾病別報告数

2021年9月20日～2021年9月26日

データ入手日:2021年9月30日

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ (※1)	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	4	1	－	3	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		2	－	1	1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		11	－	2	2	2	1	－	－	2	－	－	1	1	－	－						
感染性胃腸炎		60	－	4	15	4	2	7	2	2	4	1	2	9	1	7						
水 痘		2	－	－	－	－	1	－	－	1	－	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		24	－	3	11	4	5	－	－	－	－	－	－	1	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		9	－	2	6	－	－	1	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		22	－	1	8	6	3	－	2	－	－	1	－	1	－	－						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 (※2)	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

年齢階級, 疾病別定点当り報告数

京都市	年齢1	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳－	80歳以上
	年齢2	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳－	30歳－	40歳－	50歳－	60歳－	70歳以上	
	年齢3	総数	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10歳－	15歳－	20歳以上						
男女合計	年齢4	総数	0歳	1歳－	5歳－	10歳－	15歳－	20歳－	25歳－	30歳－	35歳－	40歳－	45歳－	50歳－	55歳－	60歳－	65歳－	70歳以上				
インフルエンザ ^{※1)}	年齢1	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
RSウイルス感染症	年齢3	0.09	0.02	－	0.07	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
咽 頭 結 膜 熱		0.05	－	0.02	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.26	－	0.05	0.05	0.05	0.02	－	－	0.05	－	－	0.02	0.02	－	－						
感染性胃腸炎		1.40	－	0.09	0.35	0.09	0.05	0.16	0.05	0.05	0.09	0.02	0.05	0.21	0.02	0.16						
水 痘		0.05	－	－	－	－	0.02	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－						
手 足 口 病		0.56	－	0.07	0.26	0.09	0.12	－	－	－	－	－	－	0.02	－	－						
伝 染 性 紅 斑		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
突発性発しん		0.21	－	0.05	0.14	－	－	0.02	－	－	－	－	－	－	－	－						
ヘルパンギーナ		0.51	－	0.02	0.19	0.14	0.07	－	0.05	－	－	0.02	－	0.02	－	－						
流行性耳下腺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－						
急性出血性結膜炎	年齢2	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
流行性角結膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	
細菌性髄膜炎 ^{※2)}	年齢4	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
クラミジア肺炎 ^{※3)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				
感染性胃腸炎 ^{※4)}		－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－	－				

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。

T3203

京都市感染症発生動向調査情報

集計対象:2021年第38週

週, 疾病別報告数

データ入手日:2021年9月30日

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		9	35	30	11	2	4
咽 頭 結 膜 熱		2	4	5	2	5	2
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		19	40	28	18	15	11
感染性胃腸炎		74	91	81	96	89	60
水 痘		2	3	2	1	5	2
手 足 口 病		－	7	15	2	14	24
伝 染 性 紅 斑		－	1	－	－	－	－
突発性発しん		6	14	14	13	12	9
ヘルパンギーナ		9	15	21	27	27	22
流行性耳下腺炎		－	2	1	1	1	－
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		1	1	－	－	1	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		122	213	197	171	171	134

週, 疾病別定点当たり報告数

京都市	男女合計	5週前	4週前	3週前	2週前	1週前	今週
インフルエンザ (※1)		－	－	－	－	－	－
RSウイルス感染症		0.21	0.81	0.70	0.26	0.05	0.09
咽 頭 結 膜 熱		0.05	0.09	0.12	0.05	0.12	0.05
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎		0.44	0.93	0.65	0.42	0.35	0.26
感染性胃腸炎		1.72	2.12	1.88	2.23	2.07	1.40
水 痘		0.05	0.07	0.05	0.02	0.12	0.05
手 足 口 病		－	0.16	0.35	0.05	0.33	0.56
伝 染 性 紅 斑		－	0.02	－	－	－	－
突発性発しん		0.14	0.33	0.33	0.30	0.28	0.21
ヘルパンギーナ		0.21	0.35	0.49	0.63	0.63	0.51
流行性耳下腺炎		－	0.05	0.02	0.02	0.02	－
急性出血性結膜炎		－	－	－	－	－	－
流行性角結膜炎		0.10	0.10	－	－	0.10	－
細菌性髄膜炎 (※2)		－	－	－	－	－	－
無菌性髄膜炎		－	－	－	－	－	－
マイコプラズマ肺炎		－	－	－	－	－	－
クラミジア肺炎 (※3)		－	－	－	－	－	－
感染性胃腸炎 (※4)		－	－	－	－	－	－
合 計		2.91	5.03	4.58	3.98	4.05	3.12

※1 インフルエンザは、鳥インフルエンザ及び新型インフルエンザ等感染症は除くが、新型インフルエンザのうち、A/H1N1については含む。

※2 細菌性髄膜炎は髄膜炎菌、肺炎球菌、インフルエンザ菌を原因として同定された場合を除く。

※3 クラミジア肺炎はオウム病を除く。

※4 感染性胃腸炎は病原体がロタウイルスであるものに限る。